

地区別説明会（恵庭地区・漁川左岸）

第5期恵庭市総合計画について

日時 平成27年9月4日（金） 18:30～19:35

会場 有明会館 中集会室

参加人数 7名

1. 開 会
2. あいさつ
3. 第5期恵庭市総合計画について
4. 質疑応答

（市民） 2025年の恵庭市の人口はどの程度を見込んでいるのか。

（事務局） 今回の総合計画で目標人口は設けていないが、恵庭市の人口のシミュレーションはしている。2025年は6万8566人程度を見込んでいる。

（市民） 恵庭市は「花のまち」で広まっているが、どこに花があるのだろうか？という状況は変わっていない。20年、30年先を見据えて、国道36号線沿いや漁川の堤防上に桜の木を植えるなどして、もっと手を打ってほしい。

（事務局） 恵庭に花がないとの感想は、いたるところで出ている。ただ、アンケートをとると恵庭は花のまちというイメージがある。イメージとのギャップが大きいことが問題。公共施設に花を植えて整備をしようと、総合計画に併せた計画を練っている最中である。せめて、道と川の駅など人が集まる市の公共施設等には、もっと力を入れたいと考えている。

一方で、花は経済に結びつかないとの意見も出ている。

(市民) もっと大規模に花を展開すべき。

(事務局) 公共施設や大きい公園等については、ある程度の整備をして維持管理しようと考えている。

(市民) 西島松にできたルルマップ自然公園ふれらんの周辺に花や木を植えて、他とは違う公園、名所となるよう独特な公園にしたほうが良い。

(事務局) 3年、4年前にロータリークラブの協力で、ルルマップ自然公園ふれらんに200本近い桜の木を植えた。現在もその周辺に花を植える活動をしているし、続けていこうとも思っている。

(市民) 街路樹に高さのある大きいイチョウの木を植えているのは適切ではない。経費の無駄遣いである。

(事務局) 街路樹の種類は30年ほど前に決めた。当時もそのような批判があったため、木を切っていた経緯もある。

その経緯を踏まえ、恵庭市の建設部では高木の管理計画をつくって、計画を追って行なおうとしている。歩道と車道の間を木を植えて歩行者の安全を図るという面もあるので、ある程度の高さの木を植えたということもある。

今の意見は建設部に伝えさせていただく。

(市民) 今回の第5期総合計画から成果指標を設けるようだが、どのような指標で表して、成果を見るのか教えてほしい。

(事務局) 今まで事業を行なったか、行なっていないかで判断していて、〇か×の成果でしかなかった。今回からは事業を行なった結果、このように変わって、こういう取り組みをしたから、こういう結果になったということを成果にしようと考えている。

例えば、観光人口を130万人から5割増の190万人にしようというのを指標や目標という。達成できなければ、行なっていた観光施策は効果がなかったことになる。行ったか、行なっていないかではなく、結果どのような効果が出たかを数字で示したいと思っている。交通事故の件数が減ったとかもわかりやすい例である。

(市民) アンケートに回答する人が、どういう施策なのかを十分に把握していないと、ただ○か×で適当に回答してもあまり意味がないという気はしていた。

(事務局) 観光人口や交通事故の件数等は数字として示しやすいが、内容によっては成果指標を設定するのが難しい項目もある。

(市民) 私もアンケート調査に回答したことがあるが、そのアンケート結果を見たことがない。アンケートの一部でも広報に載せてほしい。

総合計画の広告ももっと大きく広報に載せて、たくさんの市民に知ってもらったほうが良い。広報を有効に使えるように考え直すべき。より、市民が行政に関心を持てる広報をつくってほしい。市民に関係のある必要な情報だけを載せ、必要じゃない情報は制限していくべきだ。場合によっては掲載も有料にすべき。

(事務局) 現在の広報の内容は、市役所に関係していない情報が載っている。広報には行政の情報を中心に載せたいという思いがあって、広報の内容を精査して、見直している最中である。掲載を有料にすることも検討している。

(市民) 西島松のルルマップ自然公園ふれらんどや恵庭駅、恵み野駅周辺の開発は、第4期総合計画に基づいて行なったのか。

(事務局) その通りである。

(市民) それならば、第4期総合計画に基づいて行なっていることをもっとアピールするべき。

(事務局) ぜひ、パブリックコメントで意見を出してほしい。

5. 閉 会